

第106号



郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX 03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

みんなやり方でいいのか!

ゆうちょ銀行、かんぽ生命で働く仲間の声②

前号のカベ新聞にゆうちょ銀行、かんぽ生命で働く仲間の声を報じたところ、多くの職場から反響がありました。その反響に込めて職場の声第二弾です。

●「涉外で成績のいい人は何をやっても許されている。お客さんからとんでもない苦情が入っても成績のいい人はおとがめナシ。成績のいい人ほど苦情の数は半端ではない。それでもおとがめナシ。成績の良くない人は小さな問題でも大変な精神的苦痛を与えていることを皆の前で行う。これって、パワハラと思う。しかし、今の職場では『それは指導の一環』である、という」

●「その成績優秀者はだいたい2年で転勤になっていく。その後は『前にこんな契約はしたけども、よく分からない』というお客さんからの苦情が多くて処理するのが大変。数字が上がれば何でもいいとい

う世界だから、このようなことが起こっている。成績のいい人はお客さんのことを何も考えていない。こんなことではないかと強く思う」

●「残業の締め付けが強くなつて大変。だから勤務終了前は整理するのがバタバタして結局サービス残業になっていく。新規に契約が入ると残業はいくらやつてもいい。その落差には正直驚いている」

今こそ安倍暴走 政治にストップを

安倍内閣の支持率が急落し、安倍首相お抱えの読売新聞さえ支持36%、不支持52% (7月10日) になっています。違憲の共謀罪の強行、森友、加計問題にみられる政治の私物化、閣僚の重大な問題発言、豊田衆議員のパワハラ言動等、もう我慢できません。今こそ安倍暴走政治ストップを。

●「アフラック契約がなかなかとれないと『指導』という名のパワハラが行われる。それに対するメンテナンスが郵政にはない。スキルアップ研修は前月期の目標を達成しない場合に対象となり、それが何回も対象になると大変なプレッシャーになる。数字が全ての世界だから精神的に病む人が続出している」

